

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表: 令和 7年 3月 28日

事業所名 ワークくわの木かなぎライディングパーク 保護者等数(児童数) 46(58) 回収数 33 割合 71%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30			3		・いつでも見学に来ていただければと思います。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	24	1		8		・配置基準は満たしていますが、より安全、安心してホースセラピー活動が行える様に心掛けています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	2		10		・一部スロープ等がございます。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	30	2		1		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	26	3		4		・ホースセラピーを主とした活動を基本としながらも、色々な取り組みを企画していきたいと思っています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	4		22		・直接の交流は現在行っておりませんが、観光乗馬施設としての特性として、一般の施設の遊具や公園を共有する機会があります。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	5				・ご利用契約時に今まで以上に丁寧でわかりやすい説明を心掛けます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	4		1		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	5	4	5		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	5	7	14	・こういった機会があると良いと思います。	・ご家族様参加型の活動がなかなか出来ておりません。実行できるように努力いたします。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	1		10		・ご利用計画時に重要事項説明書等で丁寧に説明を行うように努めます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	2		2		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28	3		2		・2カ月に1回会報を作成しています。活動の様子や支援の取り組み等、より分かりやすい情報を発信していきます。

	14	個人情報に十分注意しているか	30			3		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	24	2		7		・策定はしていますが、周知が不十分なので随時、お便り等を活用してお知らせしていきたいと思います。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	3		9		・年2回行っております。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	30	1		2	・毎回利用日を楽しみにしています。・よく馬の話を家でしてくれます。	
	18	事業所の支援に満足しているか	31	2			・いつでも自由に見学ができるので乗馬の様子等が分かりやすいです。	・引き続き、ご利用者様、保護者様の皆様に満足していただけるような、開かれた取り組みを行っていききたいと思います。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 3月 28日

事業所名 ワークくわの木かなぎライディングパーク

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		
	2	職員の配置数は適切である	5	1		・配置基準は満たしているが、より安全に活動を行おうと思うともう少し増員を検討していこうと思います。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	・場所によってはスロープを設置しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		・職員同時に共有することは難しいので、引継ぎ等をしっかりと行っていこうと思います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・本人と同じようにご家族の意向も共有するようにしています。	・相談支援専門員等の関係機関からも情報を得る。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0		・第三者委員会を開催し、ご意見をいただいています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		・日々、話し合いを行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・季節の行事等も意識して行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2		・休日や長期休みでしか出来ない活動も取り入れて、色々なニーズに合わせた支援を行う。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・当日利用児童全員の話し合いを日々、行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	・当日は時間の都合上、難しい日もあるので翌日にも行うようにしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・児童本人の発言をそのまま記録に残すように心掛けています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	1		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	・月間予定表を学校より頂くようにしています。	・送迎時や連絡帳にて情報確認を保護者様と密に行うように努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	5		・現在、対象となる児童の方がおられません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	・相談支援専門員より就学前の基礎情報を確認しています。	・保育園、幼稚園との連携の機会がありません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	2	・観光乗馬施設の特性として、一般の来客者と施設の遊具を共有したり、公園で一緒に遊んだりと交流を持つ機会はありません。	・今後は法人内の他放課後等デイサービス事業所との交流も検討しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5		・日々の業務の中で定期的な参加が難しかったです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・送迎時や連絡帳、電話等で情報の共有を行っています。	・個人面談を実施出来ればと考えています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	6		・現在行えておりません。法人内他事業所と協力して今後検討予定です。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	3		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6		・引き続き行えておりません。次年度は企画、実施出来ればと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・定期的に行え、利用時の様子や活動内容を発信出来ています。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3		・観光乗馬施設としては行っているが、福祉事業所としては不十分です。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	・策定し、職員間では周知、共有は出来ているが、保護者様への周知は徹底出来ていません。	・重要事項説明書や、定期的なお便りの中で説明、紹介していき安心して利用していただけるように努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・年2回、火災や地震を想定した訓練を行っています。	・感染対策の研修、訓練も行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0		・現在、対象となる児童の方がおられません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	・医者からの指示書はないが、保護者様に確認を行っています。	・おやつはアレルギーがある児童の方については個別で対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		